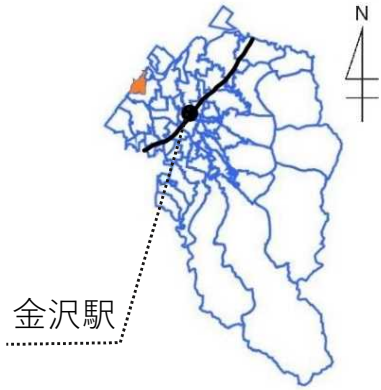


金石町校区

国勢調査から見える校区のすがた

ひとめでわかる



1 人口・世帯数



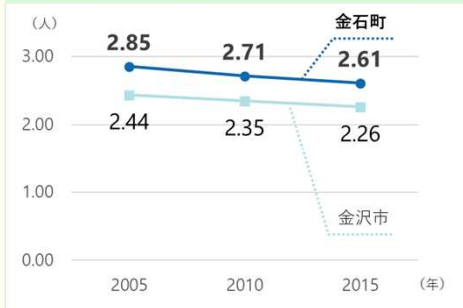
2 年齢3区分別人口



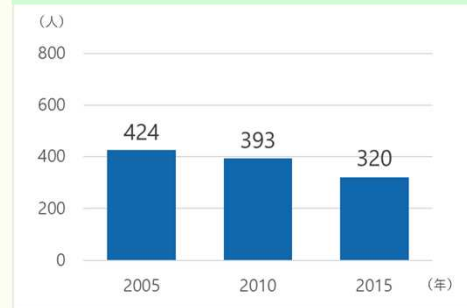
3 年齢3区分別人口割合



4 1世帯当たり人員



5 校区在住児童数[6-11歳]



6 高齢世帯数



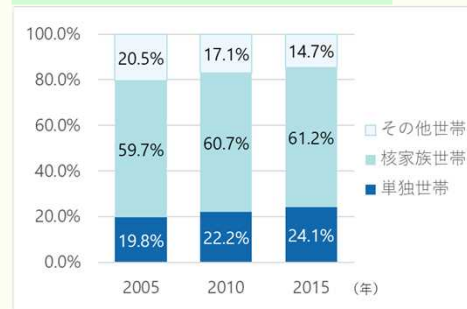
7 住宅の建て方割合



8 家族類型



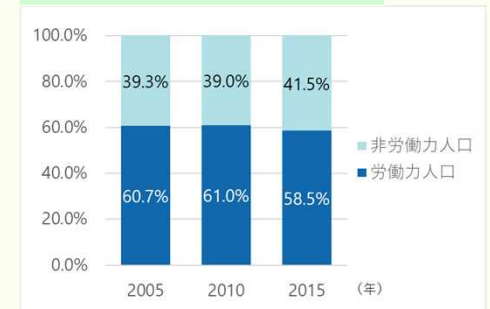
9 家族類型割合



10 労働力人口



11 労働力人口割合



準備中

※ 国から提供される2020年国勢調査の詳細結果を踏まえ、2022年8月頃に公表予定です。

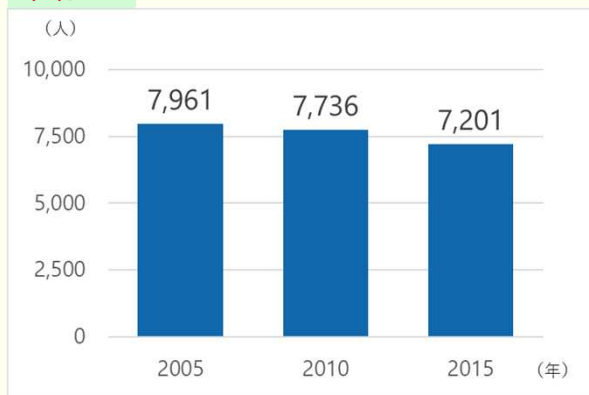
I 概要 人口 7,201人 2010年に比べ▲535人

2015年国勢調査による10月1日現在の金石町校区の人口は7,201人で、2010年に比べ▲535人となっている。世帯数は2,684世帯で、2010年に比べ▲103世帯、1世帯当たり平均世帯人員は2.68人で、2010年に比べ▲0.10人となることから、世帯規模が縮小していることがわかる。

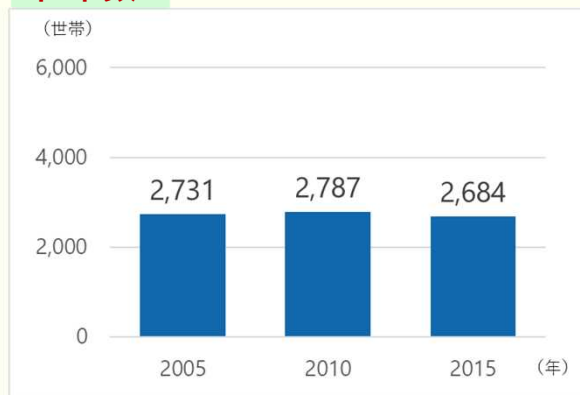
人口（男女別）及び世帯数

年	人口[人]					世帯[世帯]			
	総数	増減数	増減率	男	女	総数	増減数	増減率	1世帯当たり平均世帯人員[人]
2005	7,961	—	—	3,785	4,176	2,731	—	—	2.92
2010	7,736	▲225	▲2.8%	3,652	4,084	2,787	56	2.1%	2.78
2015	7,201	▲535	▲6.9%	3,394	3,807	2,684	▲103	▲3.7%	2.68

人口



世帯数



2 人口 65歳以上人口が増加

年齢3区分別人口をみると、0～14歳人口は794人、15～64歳人口は4,006人、65歳以上人口は2,387人で、構成比はそれぞれ11.0%、55.7%、33.3%となり、2010年に比べ、人口、構成比ともに0～14歳人口と15～64歳人口は減少、65歳以上人口は増加している。2010年との比較を増減数[増減率]でみると、0～14歳人口は▲121人[▲13.2%]、15～64歳人口は▲640人[▲13.8%]、65歳以上人口は+247人[+11.5%]となっている。

また、年齢3区分別人口の構成比の推移をみると、0～14歳人口の構成比と15～64歳人口の構成比は一貫して減少し続けており、65歳以上人口の構成比は一貫して増加し続けている。

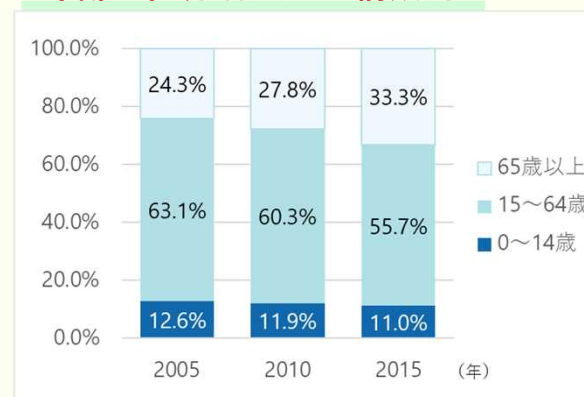
年齢3区分別人口 ※総数には年齢「不詳」を含む

年	人口[人]				構成比				増減率			
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
2005	7,961	1,004	5,022	1,935	100%	12.6%	63.1%	24.3%	—	—	—	—
2010	7,736	915	4,646	2,140	100%	11.9%	60.3%	27.8%	▲2.8%	▲8.9%	▲7.5%	10.6%
2015	7,201	794	4,006	2,387	100%	11.0%	55.7%	33.3%	▲6.9%	▲13.2%	▲13.8%	11.5%

年齢3区分別人口



年齢3区分別人口の構成比



3 世帯 単身者、2人世帯が増加

(1) 世帯数及び世帯人員

一般世帯数は2,675世帯で、増減率の推移をみると、2010年が+1.8%、2015年が▲3.7%となっている。

世帯人員別の増減率をみると、1人世帯、2人世帯が増加している一方、3人以上の人員の世帯は減少している。

また、世帯人員別の構成比は、2人世帯が30.4%と最も大きく、次いで1人世帯が24.1%、3人世帯が19.9%となっている。

世帯人員別一般世帯数

年		総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
一般世帯数 [世帯]	2005	2,730	541	760	556	494	233	108	38
	2010	2,778	618	803	550	511	189	80	27
	2015	2,675	646	813	533	428	163	68	24
構成比	2005	100%	19.8%	27.8%	20.4%	18.1%	8.5%	4.0%	1.4%
	2010	100%	22.2%	28.9%	19.8%	18.4%	6.8%	2.9%	1.0%
	2015	100%	24.1%	30.4%	19.9%	16.0%	6.1%	2.5%	1.0%
増減率	2005	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	1.8%	14.2%	5.7%	▲1.1%	3.4%	▲18.9%	▲25.9%	▲28.9%
	2015	▲3.7%	4.5%	1.2%	▲3.1%	▲16.2%	▲13.8%	▲15.0%	▲11.1%

3 世帯

(2) 世帯の家族類型

一般世帯数について、その世帯主と世帯員の続柄により家族構成を類型化（家族類型）してみると、「核家族世帯」は1,638世帯と、一般世帯の61.2%を占めており、2010年に比べ▲49世帯[▲2.9%]となっている。また、世帯人員が一人の「単独世帯」は646世帯で、2010年に比べ+28世帯[+4.5%]となっている。

世帯の家族類型別一般世帯数

年		総数	単独世帯	核家族世帯	その他の世帯
一般世帯数 [世帯]	2005	2,730	541	1,630	559
	2010	2,778	618	1,687	473
	2015	2,675	646	1,638	391
構成比	2005	100%	19.8%	59.7%	20.5%
	2010	100%	22.2%	60.7%	17.1%
	2015	100%	24.1%	61.2%	14.7%
増減率	2005	—	—	—	—
	2010	1.8%	14.2%	3.5%	▲15.4%
	2015	▲3.7%	4.5%	▲2.9%	▲17.3%

3 世帯

(3) 高齢世帯

一般世帯のなかで、「高齢単身世帯」は389世帯で、2010年に比べ+88世帯[+29.2%]であり、一般世帯の14.5%を占めている。また、「高齢夫婦世帯」は411世帯で、2010年に比べ+29世帯[+7.6%]であり、一般世帯の15.4%を占めている。

高齢世帯数

年	一般世帯数 [世帯]	高齢単身世帯 [世帯]	一般世帯に 占める割合	増減率	高齢夫婦世帯 [世帯]	一般世帯に 占める割合	増減率
2005	2,730	258	9.5%	-	310	11.4%	-
2010	2,778	301	10.8%	16.7%	382	13.8%	23.2%
2015	2,675	389	14.5%	29.2%	411	15.4%	7.6%

※ 高齢単身世帯は、65歳以上の一人のみの一般世帯。

高齢夫婦世帯は、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯。

4 住宅 所有関係にかかわらず一般世帯が減少

(1) 住宅の所有関係

住宅に住む一般世帯の所有関係別世帯数をみると、持ち家に住む世帯の方が多く、2,199世帯[構成比83.2%]と全体の約8割を占めている。

また増減率をみると、2010年に比べ持ち家に住む世帯が▲2.2%、持ち家以外に住む世帯が▲9.8%となっている。

住宅に住む一般世帯の所有関係別世帯数

年		総数	持ち家	持ち家以外
実数[世帯]	2005	2,685	2,191	494
	2010	2,739	2,248	491
	2015	2,642	2,199	443
構成比[%]	2005	100%	81.6%	18.4%
	2010	100%	82.1%	17.9%
	2015	100%	83.2%	16.8%
増減率[%]	2005	—	—	—
	2010	2.0%	2.6%	▲0.6%
	2015	▲3.5%	▲2.2%	▲9.8%

4 住宅

(2) 住宅の建て方

住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別構成をみると、一戸建に住む世帯が2,245世帯と最も多く、住宅に住む一般世帯の85.0%を占めている。以下、多い順に共同住宅に住む世帯が379世帯[構成比14.3%]、その他の住宅に住む世帯が18世帯[同0.7%]となっている。

また増減数[増減率]をみると、2010年に比べ一戸建に住む世帯が▲44世帯[▲1.9%]、共同住宅に住む世帯が▲45世帯[▲10.6%]となっている。

住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別世帯数

年		総数	一戸建	共同住宅	その他
住宅に住む 一般世帯数 [世帯]	2005	2,685	2,240	407	38
	2010	2,739	2,289	424	26
	2015	2,642	2,245	379	18
構成比	2005	100%	83.4%	15.2%	1.4%
	2010	100%	83.6%	15.5%	0.9%
	2015	100%	85.0%	14.3%	0.7%
増減率	2005	—	—	—	—
	2010	2.0%	2.2%	4.2%	▲31.6%
	2015	▲3.5%	▲1.9%	▲10.6%	▲30.8%

5 労働 労働力人口が減少

15歳以上人口は6,393人で、2010年に比べ▲393人[▲5.8%]となっている。労働力人口は3,586人で、2010年に比べ▲372人[▲9.4%]、非労働力人口は2,540人で、2010年に比べ+9人[+0.4%]となっている。労働力率は56.1%で、2010年に比べ▲2.2ポイントとなっている。

男女ともに労働力人口が減少している。

		15歳以上人口			労働力人口			非労働力人口			労働力率		
年		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
人口 [人]	2005	6,957	3,272	3,685	4,166	2,340	1,826	2,697	867	1,830	59.9%	71.5%	49.6%
	2010	6,786	3,157	3,629	3,958	2,177	1,781	2,531	848	1,683	58.3%	69.0%	49.1%
	2015	6,393	2,976	3,417	3,586	1,926	1,660	2,540	934	1,606	56.1%	64.7%	48.6%
増減数 [人]	2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	▲171	▲115	▲56	▲208	▲163	▲45	▲166	▲19	▲147	▲1.6	▲2.6	▲0.5
	2015	▲393	▲181	▲212	▲372	▲251	▲121	9	86	▲77	▲2.2	▲4.2	▲0.5
増減率	2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	▲2.5%	▲3.5%	▲1.5%	▲5.0%	▲7.0%	▲2.5%	▲6.2%	▲2.2%	▲8.0%			
	2015	▲5.8%	▲5.7%	▲5.8%	▲9.4%	▲11.5%	▲6.8%	0.4%	10.1%	▲4.6%			

※増減の単位は[ポイント]
 ※労働力率は四捨五入のため、増減の表記と計算結果が一致しないことがある。

※ 15歳以上人口 = 労働力人口 + 非労働力人口 + 労働力状態「不詳」の人口

労働力率 = 労働力人口 / 15歳以上人口

労働力率は、労働力として経済活動に参加している人の比率をみる指標として利用されている。